

中村欣一郎市長の

山椒は小粒でも……

リベンジと言っ
たは

Vol.73



リベンジと言っただけなんですよ、映画の上映をまたやりま
す。昨年の11月に男女共同参
画の趣旨で「耳をすませば」の
上映をしました。しましたと
は言うものの、実は機材のトラ
ブルで最後まで上映できま
せんでした。上映中に何度も中
断し、ヒヤヒヤしながらやつと
クライマックスに……というこ
ろで、とつとつ中止せざるを得
ない状態になってしまったので
す。

るから、締めよう」と担当の職
員に促すのですが、「いえ直り
そうです、もう少し頑張らせて
ください」と何度かやり取りを
しました。決してぶつつけ本番
だったわけではなく、前日には
通しで全編リハーサルもして
確認済みだったのですが、予期
せぬトラブルは怖いですね。
そこで、「耳をすませば」を再
度上映します。2月17日(土)午
前10時からです。会場は市民
体育館サブアリーナです。結末
がどうなるかモヤモヤした気
分のまま帰られたみなさん、ぜ
ひまたお越しください。もちろ
ん初めてのことも市外のかた
もお越しください。



© 柊あおい/集英社
©2022「耳をすませば」製作委員会

そしてお
詫びにもう
一本、「銀河
鉄道の父」
というのを
同日午後2
時から上映
します。無
名だった宮沢賢治を支えた父
と家族の物語で、原作は直木
賞の受賞作品です。
どちらの作品も申し込み不
要、無料です。(託児希望のか
たは市民課☎25 1126)へ
事前に申し込んでください。
私は以前から映画の持つ力
を信じています。自宅でソファ
に座って一人でゆっくり好きな
映画を観られる時代に、わがわ
ざみなで観る。同じ場所、
同じ時間を過ごす。共有する。
昔は当たり前にあつたけれど、
今はなくなつてしまったものを
埋め合わせてくれる気がしま
せんか。市長としては、映画に
限らずこんな機会や場所をな
るべくたくさん作っていきたい
と思つています。
年明け早々、能登半島地震
により私たちの心は大きく揺
さぶられました。この原稿は1
月10日に書いていますが、みな
さまの安全と被災地の一日も
早い復興を心よりお祈り申し
上げます。



©2022「銀河鉄道の父」製作委員会

病と差別

新型コロナウイルスの感染
が拡大するとともに、ウイルス
感染者や医療従事者などへの
「コロナ差別」が問題となりま
した。感染への不安や恐れが、
差別行動への引き金となるの
です。

病に関する差別は過去にも
起きています。結核は1950
年代まで日本での死因ワース
ト1位で、大きな健康被害を
もたらしました。感染が咳や
呼吸で広がることから、患者の
家の前を息を止めて通る、その
家の人と関わらないよう話を
されるなどの差別がありまし
た。治療薬が無い時代、療養所
に入れない患者はやむなく自
宅待機となり、結果として家
庭内に感染が広がり「結核の
家系」とみなされ、結婚や就職
などで差別されることもあり

ました。
また、らい菌が主に皮膚と神
経をおかす慢性の感染症であ
るハンセン病でも、差別があり
ました。ハンセン病患者は遠く
離れた島や隔離された施設へ
追いやられ、社会から疎外され
た状態で生涯を過ごすことを
余儀なくされました。らい菌の
感染力は弱く、感染したとし
ても発病することは極めてま
れです。現在では治療法も確
立しており、早期発見と適切
な治療により後遺症も残りま
せん。しかしながら、ハンセン
病に対する正しい知識と理解
はいまだ十分とはいえず、周囲
の人々の誤った知識や偏見が
差別の原因となっています。
病から生じる差別は、病に
冒された苦しみに加え、差別
を受けるという二重の苦しみ
の原因となります。
病から生じる差別を防ぐに
は、疾患について正しい知識を
持つことが鍵となります。病氣
を理由に差別しない、職業や
属性だけでレッテルを貼って排
除しない環境を社会全体で育
てて、病という脅威に一丸とな
つて立ち向かっていくことが大
切なのです。



Vol.226

市民課人権・市民交流係
☎25 1126